



隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【POCT】

英 Point of Care Testing

POCT (Point of Care Testing) とは、患者のベッドサイドで医師や看護師など医療従事者が行う検査のことで、検査時間の短縮および患者に見えるという利点を有している。(POCT ガイドラインより引用 日本臨床検査自動化学会)

検査の項目や場所、測定者を問わず、検査時間の短縮やその場での検査という利点を生かして、救急医療現場での活用や近年では災害医療での実施が検討されている。単に簡易な検査というだけの定義ではなく、広い意味で検査の仕組みとしての概念と捉えられており、具体的には、手術室やICU、救急治療室などでの緊急検査（血液ガス分析、血液凝固検査、血糖検査など）、外来や病棟での簡易検査（血糖検査、尿検査など）など様々な場面で行われている。中央化した臨床検査部門で行う検査に比べ、検体の運搬や検査機器等の設備に係るコストが少なく、検体の前処理が不要なことや測定機器は事実上メンテナンスフリーであることなど利点が多い。表1にPOCTによる主な検査領域と代表的な検査項目を示した。

近年、POCT コーディネーターという役割が生まれ、育成のための研修や認定資格制度がある。多くは臨床検査技師がその役割を担い、救急部門や病棟で実施したPOCTのデータと臨床検査部門で実施した検査データとの確認を行ったり、POCTによる測定データの管理や精度保証、測定機器の使用者への指導、トラブル時の対応、コスト管理など、POCTを円滑に実施していくための環境を整えるなどの業務を行い、チーム医療の観点からも注目されている。

表1 POCTによる主な検査領域と代表的な検査項目

| POCT検査領域 | 代表的な検査項目 |
|------------|--|
| 血液ガス分析 電解質 | pH PaCO ₂ PaO ₂ HCO ₃ ⁻ BE Na K Cl |
| 血液凝固検査 | プロトロンビン時間 フィブリノゲン FDP |
| 糖尿病関連検査 | 血糖 HbA1c 尿検査 |
| 生化学検査 | AST ALT HDL-cho CK CRP |
| 心筋マーカー検査 | トロポニン BNP ミオグロビン 脂肪酸結合蛋白 |
| 感染症検査 | HBV HCV インフルエンザ 肺炎球菌 |
| 血球計数 | 赤血球 白血球 血小板 ヘモグロビン |
| 尿検査 | 尿蛋白 尿糖 尿ウロビリノーゲン 尿ケトン体 |
| 血中薬物検査 | 血中テオフィリン 血中ジギタリス 血中抗てんかん薬濃度 |

〈関連学会〉日本臨床検査自動化学会

〈関連資料〉POCT ガイドライン

(国立病院機構東京病院 (現所属 国立病院機構東京医療センター 小松 和典)) 本誌394p に記載